# • 平成28年度 自己評価·学校関係者評価 報告書

岐阜県立池田高等学校

学校番号 20

## I 自己評価

	校訓「向学・友愛・錬磨」の下、明るく規律ある学校生活を通して、「知・
1 学校教育目標	徳・体」の調和のとれた人間性豊かな、心身ともに健全な人間形成を期
	すとともに、持続可能な社会の発展に貢献できる人間の育成に努める。

2	評価する領域・分野	◇教育課程·学習指	· 注道			
_	可順70呎% 刀打		□寺 □共感できる保護者は90%を起			
3	象とするアンケートの結果分					
		けて、学校が努めていることが概ね理解されていると考えられる。また、単に学力の育成だけではなく、健全な身体と豊かな心をもつ人間				
	析等		いることに対しても肯定的な回	· -		
		◇基礎・基本の定着と学力の向上を図る。				
4	今年度の具体的かつ明確な重	◇主体的な学習態度の育成を図る。				
	点目標	○福祉・国際・環境・防災教育の充実を図り、ESD(持続可能な開発				
	のための教育)の発展を図る。					
5	重点目標を達成するための校	企画委員会・教育課程委員会・各教科会・職員会議を通して全職員の				
	内における組織体制	意識の向上を図る。				
6	目標の達成に必要な具体的な	取組	7 達成度の判断・判定基準あるいは指標			
(1) 補充、追認等の特別指導や提出物等の期限の徹 (1) 生徒及び保護者を対象とするアンケー			泉とするアンケート			
	底を含む初期指導 (2) 生徒対象の授業改善アンケート					
(2) 授業評価(授業アンケート、相互授業参観)に (3)			(3) 相互授業参観(校内授業公開週間)の結果			
	よる授業改善		(4) 授業公開週間における訪問者アンケート			
	(3) 習熟に応じた少人数教育	、個別指導	(5) 補充、追認指導の状況			
(4) アクティブ・ラーニングによる力がつく実践						
	(5) 福祉・国際・環境教育のためのESDへの取組					
	とHP等を利用した教育	活動の広報				
8 取組状況・実践内容等		9 評価視点	10 評 価			
•	• 成績不振者に対し各考査終了後に補充授業や習熟		① 学習指導において、きめ			
	度の高い生徒には放課後補習ん	め個別投道を行っ	/m / 6 /b / ± / 5 1 / /			
	た。家庭学習を習慣づけるために、当日課題を教		細かな指導ができたか。			
室内後ろに掲示し、英語・数学・国語においては			細かな指導かできたか。 	A B C D		
		めに、当日課題を教	細かな指導かできたか。	A B C D		
	室内後ろに掲示し、英語・数: 週末課題などを課した。初期:	めに、当日課題を教 学・国語においては 指導を行うことで、	細かな指導かできたか。	A B C D		
	室内後ろに掲示し、英語・数望 週末課題などを課した。初期生徒の中に時間や期限の厳守	めに、当日課題を教学・国語においては 指導を行うことで、 が定着した。		A B C D		
•	室内後ろに掲示し、英語・数: 週末課題などを課した。初期生徒の中に時間や期限の厳守: 授業改善においては、年2回の	めに、当日課題を教学・国語においては 指導を行うことで、 が定着した。 の相互授業参観(校	② 他の実践が自分の授業実	A B C D		
•	室内後ろに掲示し、英語・数望 週末課題などを課した。初期生徒の中に時間や期限の厳守 授業改善においては、年2回内公開授業週間)を定め、各	めに、当日課題を教学・国語においては 指導を行うことで、 が定着した。 の相互授業参観(校 教諭が最低1回は、	② 他の実践が自分の授業実 践の向上に寄与したか。			
•	室内後ろに掲示し、英語・数: 週末課題などを課した。初期: 生徒の中に時間や期限の厳守: 授業改善においては、年2回の内公開授業週間)を定め、各地の教諭の授業を参観に行く	めに、当日課題を教学・国語においては 指導を行うことで、 が定着した。 の相互授業参観(校 教諭が最低1回は、 こととした。また、	② 他の実践が自分の授業実 践の向上に寄与したか。 生徒による授業評価を改	ABCD		
•	室内後ろに掲示し、英語・数望 週末課題などを課した。初期生徒の中に時間や期限の厳守 授業改善においては、年2回内公開授業週間)を定め、各額他の教諭の授業を参観に行く生徒に授業改善アンケートを	めに、当日課題を教学・国語においては 指導を行うことで、 が定着した。 の相互授業参観(校 教諭が最低1回は、 こととした。また、	② 他の実践が自分の授業実 践の向上に寄与したか。			
•	室内後ろに掲示し、英語・数望 週末課題などを課した。初期 生徒の中に時間や期限の厳守 授業改善においては、年2回の 内公開授業週間)を定め、各認 他の教諭の授業を参観に行く 生徒に授業改善アンケートを 用した。	めに、当日課題を教 学・国語においてで、 が定着した。 が相互授業参観(校 教諭が最低1回は、 こととした。また、 行い授業の改善に利	② 他の実践が自分の授業実践の向上に寄与したか。 生徒による授業評価を改善に生かしたか。			
	室内後ろに掲示し、英語・数望 週末課題などを課した。初期生徒の中に時間や期限の厳守 授業改善においては、年2回内公開授業週間)を定め、各地の教諭の授業を参観に行く生徒に授業改善アンケートを利した。	めに、当日課題を教学・国語においては 皆導を行うことで、 が定着した。 の相互授業参観(校 教諭が最低1回は、 こととした。また、 行い授業の改善に利 或(習熟クラス)や	② 他の実践が自分の授業実践の向上に寄与したか。 生徒による授業評価を改善に生かしたか。	A B C D		
•	室内後ろに掲示し、英語・数望 週末課題などを課した。初期 生徒の中に時間や期限の厳守 授業改善においては、年2回 内公開授業週間)を定め、各 他の教諭の授業を参観に行く 生徒に授業改善アンケートを 用した。 生徒の実態に応じた習熟度編 個別指導を行い、習熟の度合	めに、当日課題を教 学・国語にうこ。 学・調語についる。 学・調節を が相がとと が相がとと を を を が相がと が を を の は は は は は た 。 の は は は は は は は は た 。 の は は は た 。 、 、 、 、 、 、 、 、 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、	② 他の実践が自分の授業実践の向上に寄与したか。 生徒による授業評価を改善に生かしたか。 3 習熟の度合いに応じた分かり易い授業、力のつく			
	室内後ろに掲示し、英語・数望 週末課題などを課した。初期生徒の中に時間や期限の厳守 授業改善においては、年2回の内公開授業週間)を定め、各額他の教諭の授業を参観に行く 生徒に授業改善アンケートを利した。 生徒の実態に応じた習熟度編別指導を行い、習熟の度合い授業、力のつく授業を目指	めに、当日課題を教 学・国語におといる 学・国語におといる が定着した。 が相互授紙のは、 が相互授紙のは、 で、 をもした。 が相がしまた、 がは、 で、 がは、 で、 がは、 で、 がは、 で、 がは、 で、 がは、 で、 がは、 で、 がは、 で、 がは、 で、 がは、 で、 がい。 で、 がい。 で、 がい。 で、 がい。 がい。 がい。 がい。 がい。 がい。 がい。 がい。 がい。 がい。	②他の実践が自分の授業実践の向上に寄与したか。 生徒による授業評価を改善に生かしたか。 3 習熟の度合いに応じた分かり易い授業、力のつく授業の実践ができたか。	A B C D		
	室内後ろに掲示し、英語・数望 週末課題などを課した。初期 生徒の中に時間や期限の厳守 授業改善においては、年2回の 内公開授業週間)を定め、各 他の教諭の授業を参観に行く 生徒に授業改善アンケートを 用した。 生徒の実態に応じた習熟度編 個別指導を行い、習熟の度合い授業、力のつく授業を目指 アクティブ・ラーニングについ	めに、当日課題を教 学・導導をした。 が相談をを が相がととでででで、 をを が相がととででででででででででででででででででででででででででできる。 を を はないでででででできませる。 を はないでででできませる。 はないででできませる。 はないででできませる。 はいでは、 はいでは、 とのできまできませる。 はいでは、 はいでは、 とのできまできませる。 はいでは、 とのできまできませる。 はいでは、 とのできまできませる。 はいでは、 とのできまできませる。 とのできまできませる。 はいでは、 とのできまできませる。 とのできまできませる。 とのできまできまできます。 はいでは、 とのできまできまできます。 はいでは、 とのできまできまできます。 とのできまできます。 とのできまできまできます。 とのできまできまできます。 とのできまできまできます。 はいでは、 とのできまできまできます。 とのできまできまできます。 とのできまできまできます。 とのできまできまできます。 とのできまできまできまできます。 とのできまできまできます。 とのできまできまできます。 とのできまできまできまできまできまできまできまできまできまできまできまできまできまで	②他の実践が自分の授業実践の向上に寄与したか。 生徒による授業評価を改善に生かしたか。 3 習熟の度合いに応じた分かり易い授業、力のつく授業の実践ができたか。 ④ アクティブラーニングへ	A B C D		
	室内後ろに掲示し、英語・数望週末課題などを課した。初期生徒の中に時間や期限の厳守治理業の事においては、年2回内公開授業週間)を定め、各種の教諭の授業を参観に行るを観に行ると、生徒の実態に応じた習熟度を開した。生徒の実態に応じた習熟度を開い授業、ブ・ラーニングについて、アクティと主体的な学習態度の育	めに、当日課題を教 学・国語にここ。 学・運動を制 が相がした。 の相がとと、 が相がとと、 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	②他の実践が自分の授業実践の向上に寄与したか。 生徒による授業評価を改善に生かしたか。 3 習熟の度合いに応じた分かり易い授業できたか。 4 アクティブラーニングへの取り組みが、生徒にと	A B C D		
	室内後ろに掲示し、英語・数望 週末課題などを課した。初期 生徒の中に時間や期限の厳守 授業改善においては、年2回の 内公開授業週間)を定め、各 他の教諭の授業を参観に行く 生徒に授業改善アンケートを 用した。 生徒の実態に応じた習熟度編 個別指導を行い、習熟の度合い授業、力のつく授業を目指 アクティブ・ラーニングについ	めに、当日課題を教 学・国語にここ。 学・運動を制 が相がした。 の相がとと、 が相がとと、 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	②他の実践が自分の授業実践の向上に寄与したか。 生徒による授業評価を改善に生かしたか。 3 習熟の度合いに応じた分かり易い授業、力のつく授業の実践ができたか。 ④ アクティブラーニングへ	A B C D		

ESDについては、学年通信など保護者向け案内文書 ⑤ ESDを含めて、本校の教育 などに対してロゴの積極的な使用や、育友会広報物等 活動の広報ができたか。 A B C D も利用しESD教育の普及に努める。また、教育課程内 においてもESD教育の理念をどういった単元で具現化 できるか調査し、ESDカレンダーを作成する。 ○ESD教育の理念を広めるため、教科においてもどういった単元で具現化でき るか調査し、ESDカレンダーを作成した。 11 ○習熟クラスを各学年に設けているが、さらに力のつく実践を行うために、2 評 成 年理科系習熟で成績の基準を設けたが、成果があった。 果 ○家庭学習を習慣づけるために、当日課題を教室内後ろに掲示し日々の学習を В С D 課 ▲少人数指導の学習効果をより高められるような授業であるかが問われてい 題

### 12 来年度に向けての改善方策案

高等学校教育を通じて、『(i)これからの時代に社会で生きていくために必要な、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度(主体性・多様性・協働性)」を養うこと、(ii) その基盤となる「知識・技能を活用して、自ら課題を発見しその解決に向けて探究し、成果等を表現するために必要な思考力・判断力・表現力等の能力」を育むこと、(iii)さらに その基礎となる「知識・技能」を習得させること。』が、「確かな学力」という形で求められている。特に、高等学校には、課題の発見と解決に向けた主体的・協働的な学びを重視した教育を展開するとともに、生徒の多様な学習成果や活動を適切に評価することなどにより、これからの時代に必要な資質・能力を身に付けさせ、生徒一人ひとりの可能性を伸ばしていく観点から指導を行うことが求められている。

る。さらに、授業内容・形態については研究を進める必要がある。 ▲アクティブ・ラーニングについては、今後研究をして充実を図りたい。

そこで、本校において取り組むべきこととして、授業改善を行い、授業力の向上に努めることが必要である。例えば、アクティブ・ラーニングによる授業などを研究することで、協働的・互恵的な学び合いを醸成し、高めあう授業の創造を図ることが課題となっている。また、総合的な学習の時間「探究」等を活用し、「福祉」、「国際」、「環境」について生徒に学びの場を増やす。こういったESDの推進により、学びの意欲の向上を図る。よって、来年度より、校内授業公開週間からESD週間(校内授業公開)へ名称変更し、ESDに関する研究授業をお願いしたいと考えている。

また、大学入試改革に伴い、生徒の学力が幅広く、多様な進路意識を持つ生徒に対応するため、教育課程の研究・検討を行いたい。

家庭学習を習慣づけるために、当日課題を教室内後ろに掲示したことや、授業開始時のチャイムの前に予鈴としての音楽を流すことで学習姿勢の向上を図るなど、日々の授業において積み重ねを大切にし、予習・復習・宿題のサイクルの定着を図りたい。これには、自宅学習の意欲を刺激する宿題の内容と量の工夫および小テストを含む宿題の点検等を行うことが大切である。

#### Ⅱ 学校関係者評価

### 【意見・要望・評価等】

• 基本的に池田高校の生徒たちはまじめであり、それぞれスピードや方法は違っても授業や学習に対して一生懸命取り組んでいると思う。先生方の細やかな指導のおかげで、補習や補充、個別指導さえ楽しく学んでいるように見える。これからは、広く浅くだけでなく、もっと「自分にはこれがある!」と思えるような強みをもてるようになる

実施年月日:平成29年2月16日

- 生徒の現状・実状を正確に把握し、それにもとづいたきめこまかい学習授業の試みを評価したい。保護者の共感を得ている学力・身体・心の三拍子そろった育成の成果を期待している。
- 評議員をお引き受けして3年間授業を見せていただき、居眠りの生徒が本当に少なくなったと思います。習熟少人数教育、個別指導、わかり易い授業、力のつく授業を目指してこられた成果が年々と出ていると思います。
- ESD教育については、理念についてより一層の生徒・職員への浸透をお願いしたい。